

## 新型のMRIを導入

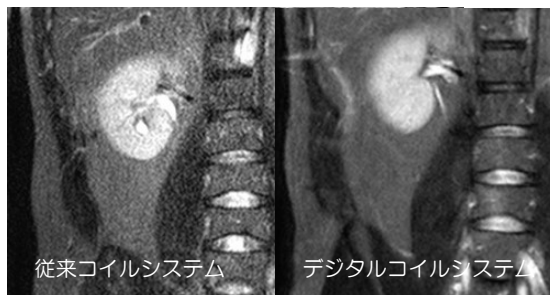
青森労災病院では、令和元年11月に新型の1.5T（テスラ）MRIを導入しました。

従来の装置より画質をさらに向上させるMRI業界最新のデジタルコイルを搭載しています。

このコイルを使えば、鮮明な画像をより短時間で収集できます。また、最新鋭の高速化技術Compressed SENSEを搭載しており、従来検査よりも速く高精細な画像を取得可能になりました。



Ingenia 1.5T  
オランダ フィリップス社製

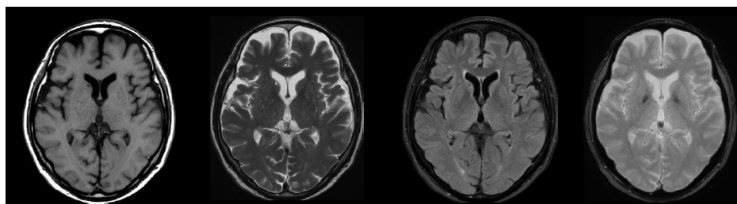


従来コイルシステムよりデジタルコイルシステムのほうが短時間かつ高SNR画像を得ることができます。



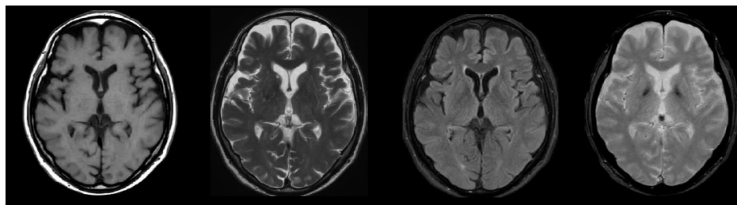
デジタルコイルシステムとは、コイル内で信号変換を全て完了するコイルで外来ノイズ混入がないため高画質を得ることが可能です。

従来撮像法



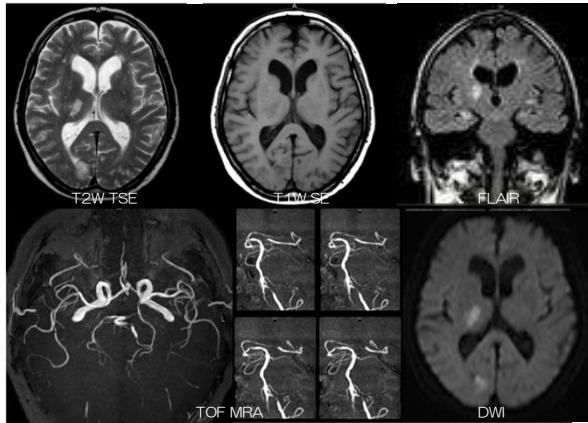
8:06 min

Compressed SENSE



5:03 min

## 撮像画像例

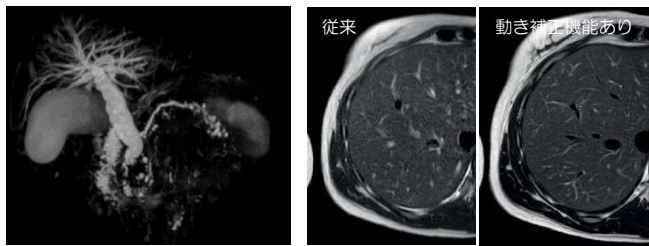


**頭頸部MRA**  
頭・頸部コイルを利用し、造影剤を、用いずMRAを広範囲で撮像できます。頸動脈の狭窄を鮮明に確認できます。

(画像提供: IRM des Sources, Lyon, France)

### 症例： 75M 急性期脳梗塞

従来より短時間の検査が可能です。造影剤を用いずMRAを撮像し、血管障害の同定を行うことができます。脳梗塞をDWIによってコントラスト良く描出することができます。(画像提供: Trier, Bruderkrankenhaus, Germany)

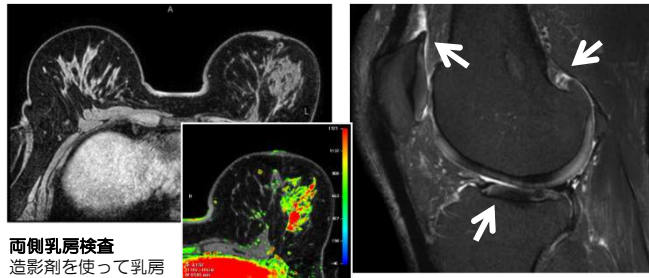


### MRCP

同期撮像により動きを制限した鮮明な画像を得ることができます。(画像提供: Henry Ford, Fairlane, USA)

### 肝臓画像比較

従来動きによりブレた画像も補正機能により鮮明な画像を得ることができます。(画像提供: Meander Medisch Centrum Amersfoort, Netherlands)



### 両側乳房検査

造影剤を使って乳房疾患の鑑別を行います。

画像提供: St. Jan, Brugge, Belgium

### 膝軟骨損傷例

加齢や外傷に伴う軟骨損傷を明瞭に観察できます。



### 脊椎検査

全脊椎検査は約40分。頸椎や胸椎、腰椎は各20分の検査時間で可能です。